

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和06年02月15日

計画の名称	蕨駅西口地区整備計画（第2期）第1回変更												
計画の期間	令和05年度～令和09年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	蕨市												
計画の目標	駅前広場、区画街路の拡幅に合わせ、シェルター等の設置を含めた歩行者空間の充実など、ユニバーサルデザインに配慮した整備により、安全性や利便性、快適性の向上を図るとともに、先行工区である蕨駅西口地区7番街区に連続するプロムナードを中心に、公共公益施設、商業施設及び都市型住宅が調和した魅力ある空間を形成し、居住人口の定着を図り、にぎわいの創出、新たなコミュニティの形成につなげ、蕨の玄関口の再生と魅力づくりを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	107	A	107	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (R9末)
1	居住人口を4283人から5043人に増加 事業地区を含む周辺（中央1丁目）に居住する人口の統計により算定する。	4283人	人	5043人
2	市民意識調査における「蕨駅周辺の整備」に対する満足率を20.8%から30.0%に増加 市民意識調査における「蕨駅周辺の整備」に対する「満足している」及び「どちらかといえば満足している」の割合により算定する。	208%	%	300%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																					
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
		種別	種別	対象	間接							R05	R06	R07	R08	R09					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
道路事業	A01-001	街路	一般	蕨市	間接	市街地再開 発組合	市町村 道	改築	蕨駅西口地区 (蕨駅西口 広場)	駅前広場整備 約5,100㎡	蕨市	■	■	■	■	■	107	1.30	—		
											小計						107				
											合計						107				

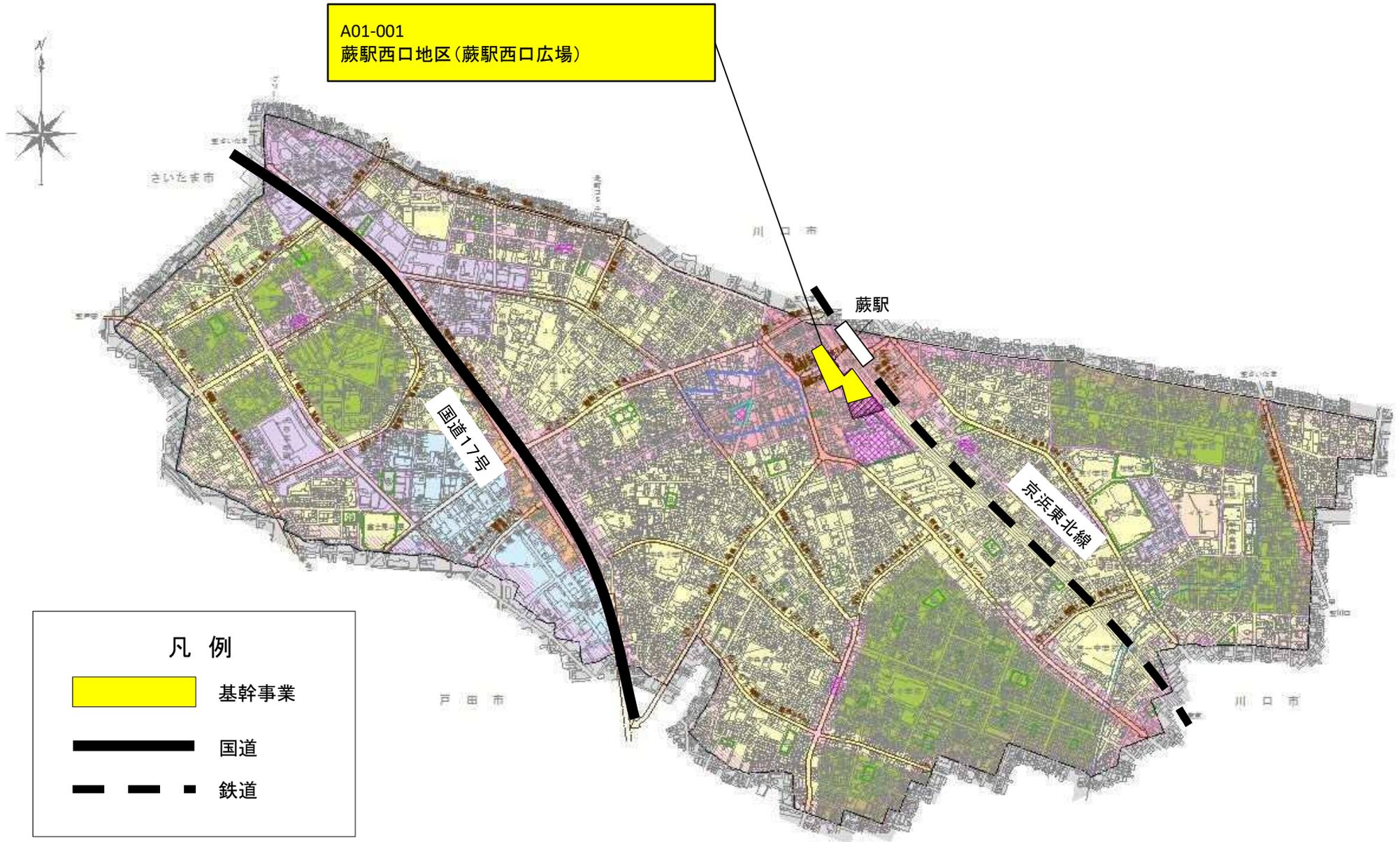
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R05	R06			
配分額 (a)	7	0			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	7	0			
前年度からの繰越額 (d)	0	0			
支払済額 (e)	7	0			
翌年度繰越額 (f)	0	0			
うち未契約繰越額 (g)	0	0			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	蕨駅西口地区整備計画（第2期）第1回変更	交付対象	蕨市
計画の期間	令和5年度～令和9年度（5年間）		



事前評価チェックシート

計画の名称： 蕨駅西口地区整備計画（第2期）第1回変更

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性 1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 ⑤地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 ⑥円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○